

袴田巖さんの映画上映

南魚沼 再審早期開始、姉が訴え



金聖雄監督と対談する袴田秀子さん（左）＝4日夜、南魚沼市

静岡県で1966年に起きた一家4人殺害事件で死刑確定後、再審開始決定で48年ぶりに釈放された袴田巖さん(80)の日常を追った

ドキュメンタリー映画「袴田巖 夢の間の世の中」の上映会が4日夜、南魚沼市のコミュニティーホールさわらびで開かれた。袴田さん

の姉秀子さん(83)が来場し、「巖はまだ『死刑囚』のまま。早く再審が始まってほしい」と訴えた。

袴田さんは2014年に釈放され、現在は故郷の浜松市で暮らす。ただ、決定に検察側が異を唱え即時抗告審が続いており、再審開始は見通せない。

上映会は地元住民らでつくる団体が主催し、約50人が参加した。映画では、拘留所での習慣が抜けず、袴田さんが家の中を歩き回る様子が描かれた。一方で秀子さんに支えられ、将棋を楽しむなど笑顔を取り戻していく姿も映し出された。

金聖雄監督と対談した秀子さんは「巖が出てきてから私も笑えるようになってきた。でも、まだ裁判は終わっていない」と語った。

小千谷市の団体職員男性(65)は「自分が無実の死刑囚になったら耐えられない。映画から袴田さんと秀子さんの強さを感じた」と話した。